



鈴木基夫
自由クラブ

自然減対策について

問 妊娠、出産、子育てなど各ライフステージの支援についてリプロダクションの現状について伺う。

答 リプロダクションの考えのもと、不妊治療を望む人や悩まれている人が、年齢制限の検討や、不妊治療に踏み出すための支援として、初期費用の補助制度を検討していきたい。

問 リプロダクションセンターを定住施策とする考え方を伺う。

答 名古屋市立大学との連携体制をもとに、今後、需要の高まりの見込まれる妊娠から子育てなどのライフステージの分野について、研究していきたい。

社会減対策について



問 働くことを軸とする社会の実現に向けて公契約条例の検討状況について伺う。

答 蒲郡市公契約に関する指針を基に、今年度中に、公契約条例の制定をしていきたい。

問 EBP Mに基づく成長産業と雇用創出の位置づけを伺う。

答 各種指標・データ分析に努め、本市における今後の計画やビジョン策定等に活用し、証拠に基づいた政策立案につなげていきたい。現在進めている産業振興ビジョンの策定においても、雇用の創出を含めた産業全体の活性化を目指していきたい。



国民健康保険税条例の一部改正などを議決

6月市議会定例会は、6月15日から6月27日までの13日間の会期で開き、議案13件を審議しました。国民健康保険税条例の一部改正など、主な内容をお知らせします。

条例の改正

●市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正
(第44号議案)

道路構造令の改正に伴い、交通事故の防止を図るため必要がある場合において設ける施設に、自動運行補助施設を追加します。

また、にぎわいある歩行者中心の道路空間を構築するため、歩行者が安心・快適に通行・滞留できる空間が整備され、占用を柔軟に認められる「歩行者利便増進道路」について、構造の基準を定めます。これに伴い、蒲郡市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例中

の有効幅員の定義について、規定の整理を行います。

●経済委員会での主な質疑
問 自動運行補助施設とはどういうものか。市内にあるか。今後の予定はどうか。

答 自動運行補助施設とは、自動運転車の運行を補助する施設で、電磁誘導線や電磁マーカー等を使用して運行を補助するものです。今のところ、市内において自動運行補助施設の整備計画及び整備予定はありません。

問 歩行者利便増進道路は市道駅南1号線以外の道路も想定されているのか。市民の利用はいつ頃の想定か。
答 市道駅南1号線については、令和4年度から東港地区開発推進室において、市民参加によるワークショップ

6月定例会の日程

15日	本会議 〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕
16日	本会議〔一般質問〕
17日	本会議〔一般質問〕
20日	総務委員会
21日	経済委員会
22日	文教委員会
27日	本会議 〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕